

# 旅のインスピレーション

世界各地の注目の旅先ガイド

◆ A guide created with the support  
of Expedia TAAP © 2022



# 心に残る旅を実現して いただくために、 今年絶対に行きたい旅行先を リストアップしました。

豊富な選択肢や魅力的なソーシャルメディアの投稿があり、多数の旅行会社が注目を集めようと競い合う中、旅先選びで途方に暮れてしまうこともあるかもしれません。

数ある選択肢の中から理想的な目的地を絞り込んでいただけるよう、注目度が上昇中の世界の旅先を10か所セレクトしました。選択にお困りでしたら、弊社にお電話ください。お客様のご希望を伺い、理想的な旅の計画をお手伝いさせていただきます。

03 ヨルダン、アンマン



09 グアドループ

08 アブダビ



02 ポルトガル、リスボン



01 イタリア、プーリア



# イタリア、プーリア



イタリアの「パンかご」の愛称で親しまれているプーリアでは、最高の料理とワインが楽しめます。美味しいものが大好きな旅行者にとって、絶対に外せない旅先です。プーリアには数多くの魅力的なマッセリア (農園) があり、美食体験を提供しています。イタリア南部のこの地方には、自然のままの姿が残る美しいビーチがあるほか、古い街並みや広々とした田園風景も見られます。

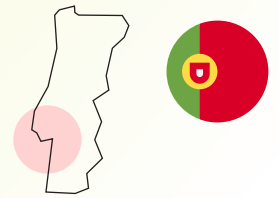
州都のバーリから旅をスタートしましょう。レンタカーを走らせて海岸に沿って自動車旅行を。イタリアをブーツのかかとの方向に向かって南下し、美しいモノポリ、白い街並みのオトランド、そこからほど近いアルベロベッロへ。この町の名物、とんがり屋根の家トゥルツリでの宿泊も可能です。<sup>4</sup> さらに南に進みレッツェへ、あるいは隣のマテーラまで足を延ばすのも一案。崖に面したマテーラの風景は、映画「007 / ノータイムトゥダイ」で見覚えがある方もいらっしゃるでしょう。



1. <https://www.harpersbazaar.com/uk/travel/g28936575/discovering-the-real-alberobello-the-home-of-puglias-enchanting-trulli/>

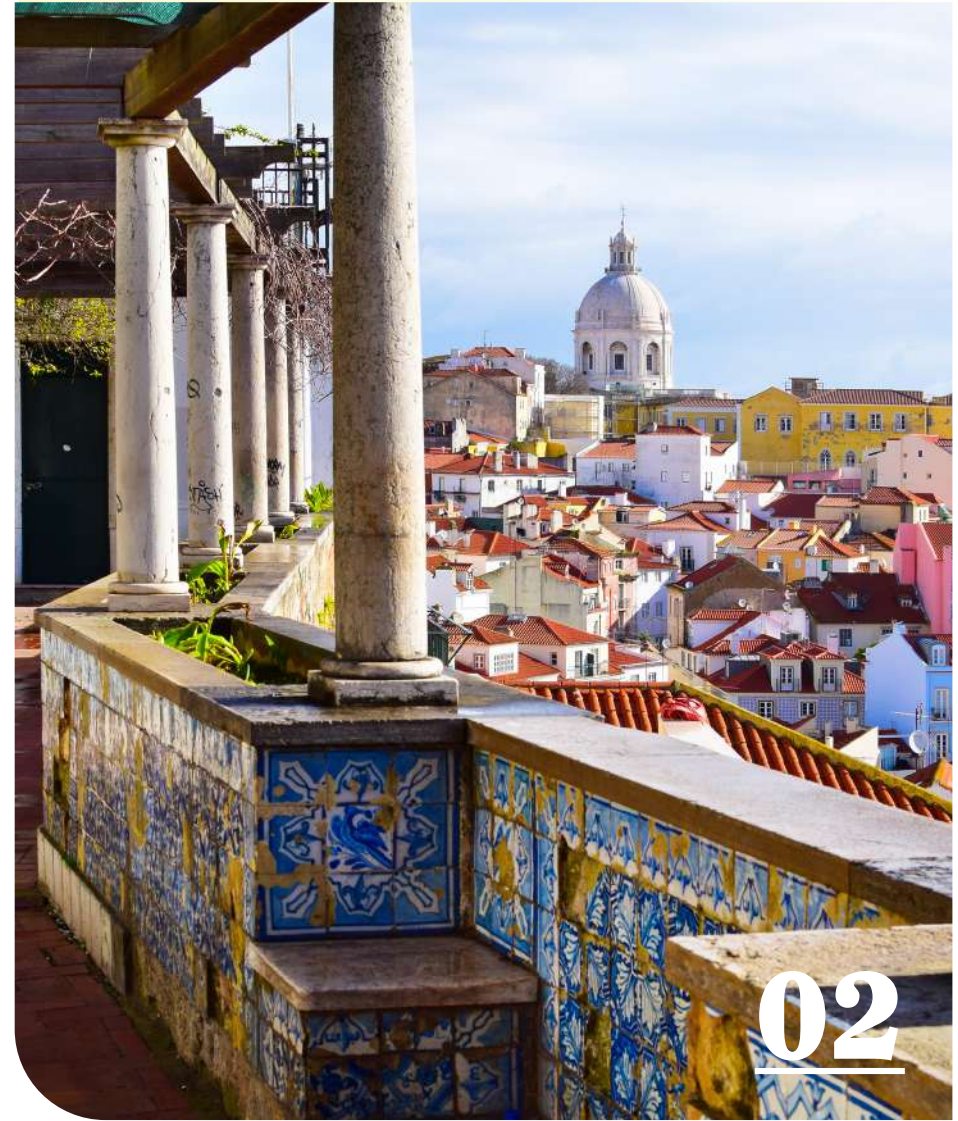


# ポルトガル、リスボン



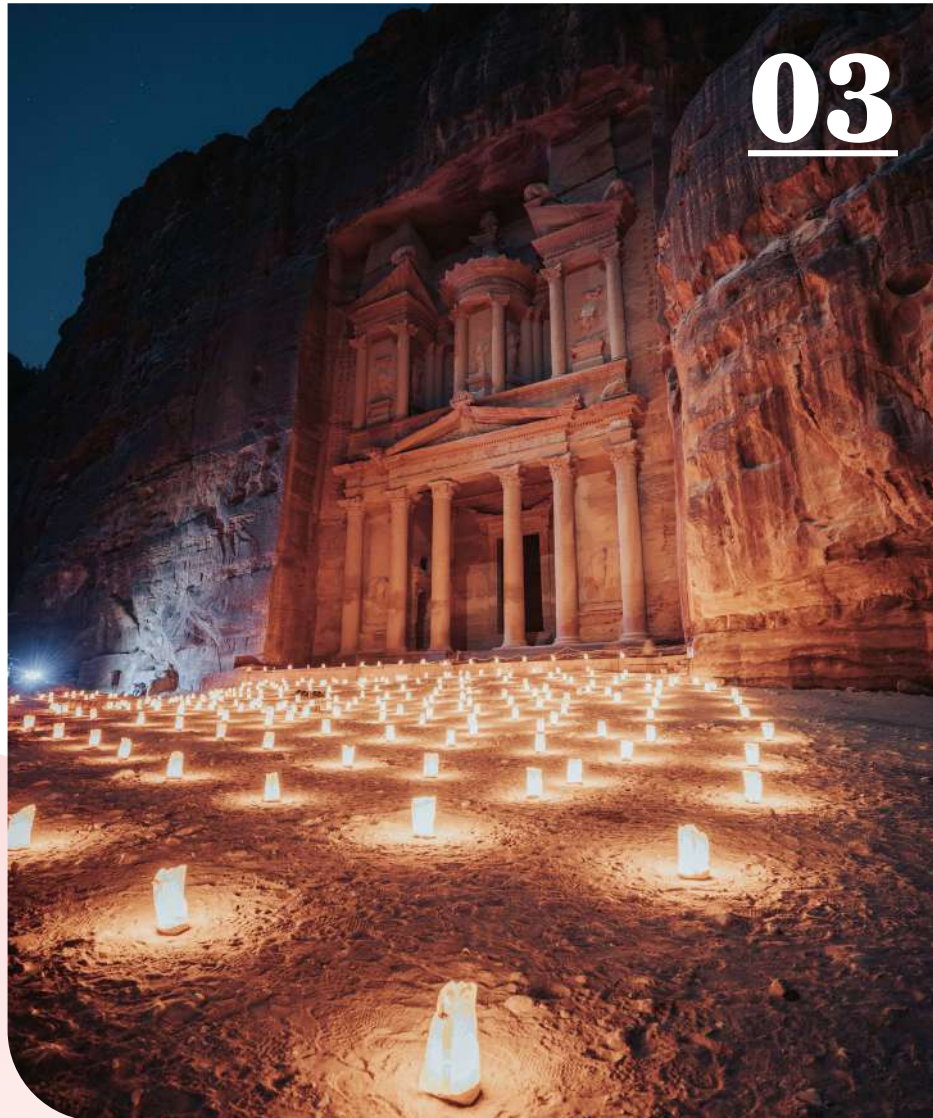
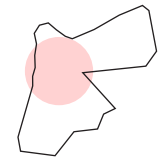
ポルトガルの首都リスボンはヨーロッパ屈指の人気都市ですが、それにはもちろん理由があります。黄色い路面電車に乗って観光スポットを巡り、賑やかなタイムアウトマーケットでシーフードを味わい、パステルカラーの旧市街を散策。この町には見どころも興味深い体験も満載です。

サンタ ジュスタのリフトとよばれるエレベーターに乗れば、高い位置からリスボンの街並みを見渡すことができます。その後はリスボンの様々な地区を散策して、それぞれの魅力と雰囲気を感じてください。エッグタルトをお供にコーヒーブレイク(1日に少なくとも1回)、ゆっくり時間をかけていただくランチ、ウォーターフロントでのディナーも、忘れずにスケジュールに入れてください。長めの休暇が可能であれば、ビーチエリアや世界的に有名なサーフスポットに足を延ばすのもおすすめです。





# ヨルダン、アンマン

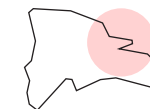


ヨルダンの首都アンマンは、ペトラ、死海、ワディラムといったこの国の有名観光地への足掛かりとなっています。と言っても単なる経由地として素通りするにはもったいないほど、この中東の都市には見応えがあります。

ジャバル アル カラーで城塞やヘラクレスの神殿などを訪ねれば、悠久の歴史に思いを馳せることができます。学校やコーヒーハウス、モスクがひしめく市街地も必見です。6,000名を収容できる古代ローマ劇場は、ローマのコロッセオにも匹敵する素晴らしさです。



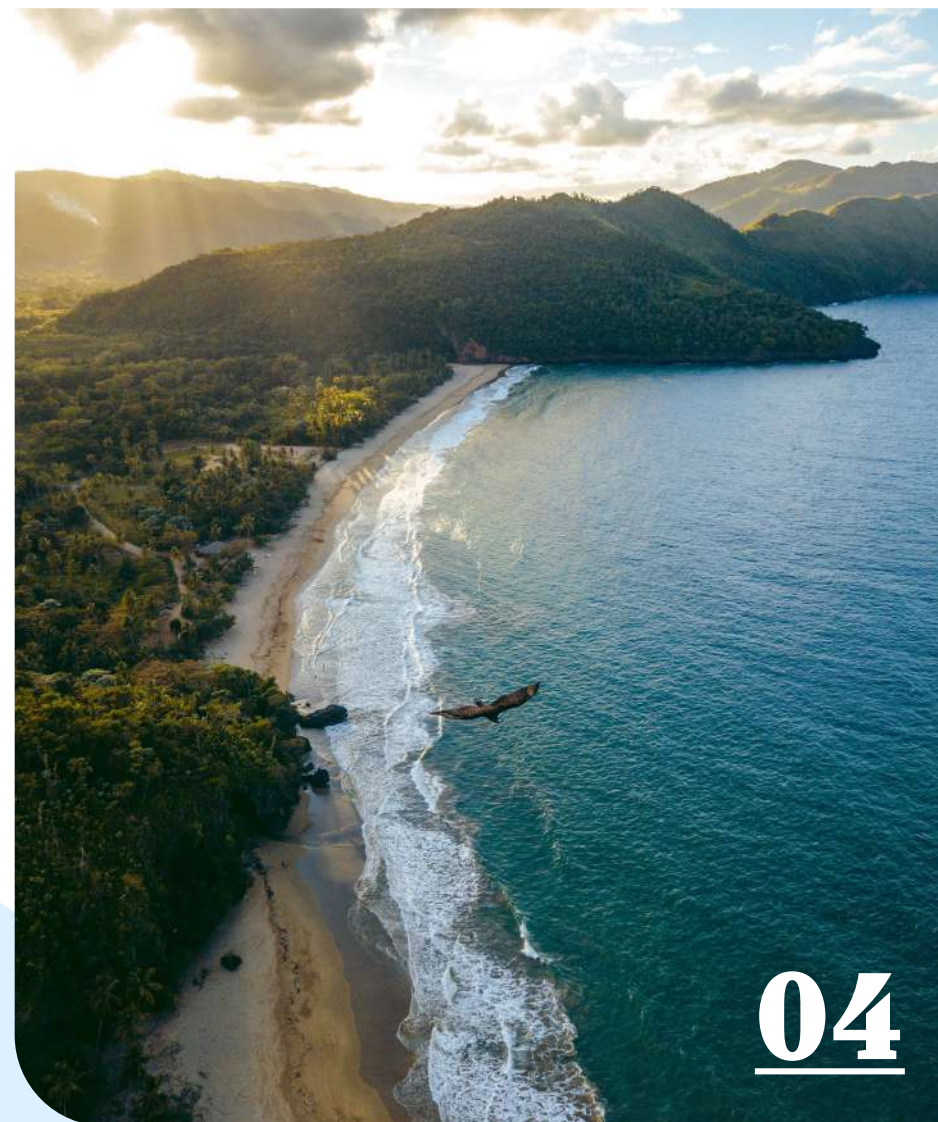




# ドミニカ共和国 サマナ半島

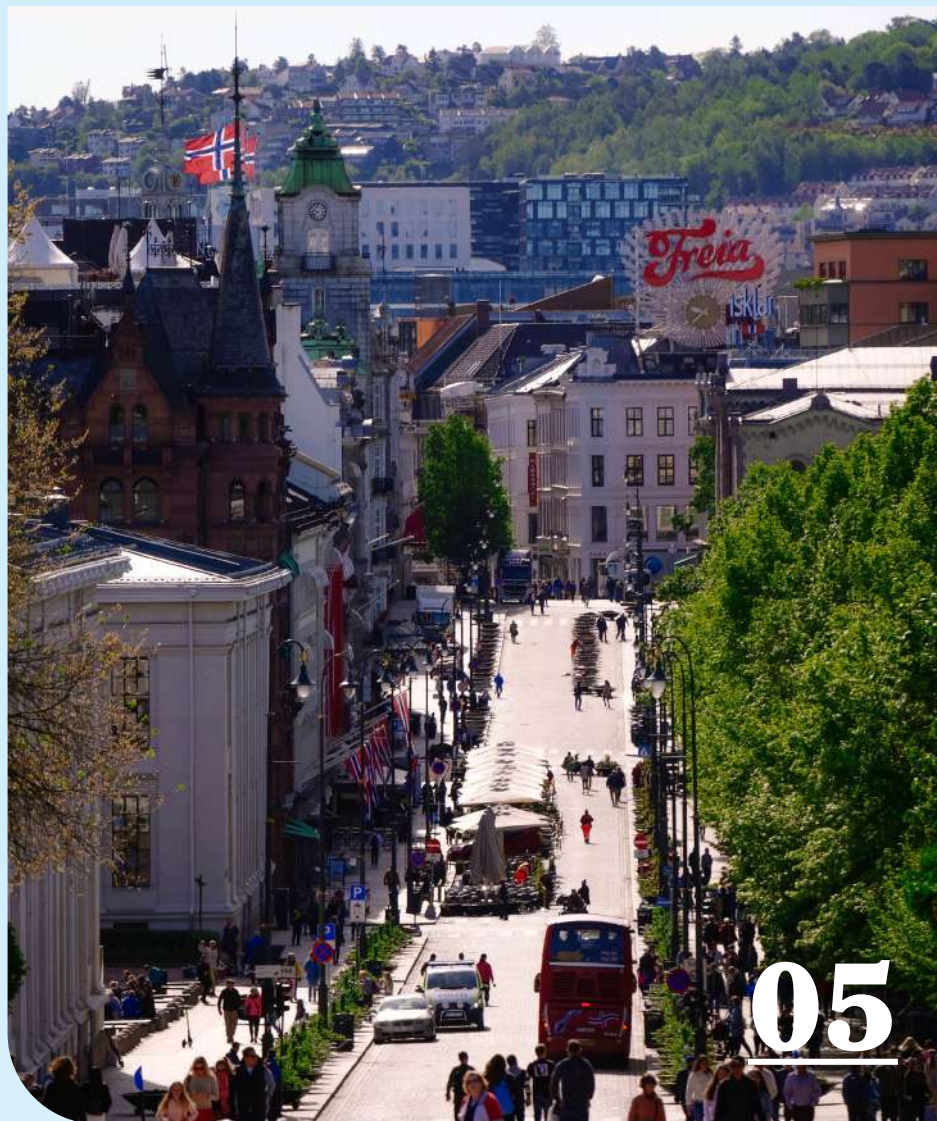
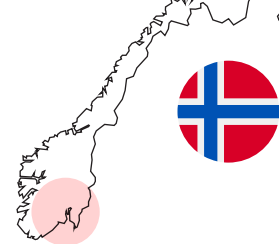
至福のビーチリゾートと、ちょっとしたアクティビティーをお望みなら、ドミニカ共和国のサマナ半島への旅行をご予約ください。カリブ海に浮かぶ色鮮やかな島国の北東部に位置するサマナ半島は、ザトウクジラが見られることと、1平方メートルあたりに生えているココヤシが世界で最も多いことで知られています。<sup>5</sup>

滞在先には魅力的なサマナの町がおすすめです。ウォーターフロントの遊歩道からサマナ湾を眺め、特等席でホエールウォッチング(1～3月)を楽しんでください。すぐ近くにあるラスガレラスやラステレナスも滞在先として最適な、自然のままの景色が残る海岸エリアです。このエリアのくつろいだ雰囲気と静かなホテルは、島の他のエリアのきらびやかなリゾートから少し離れて、本物のカリブ諸島の生活を味わうことができる場所です。





# ノルウェー、オスロ



活気と緑に溢れ、元気になれるアクティビティがいっぱいのオスロは、今年話題の北欧都市です。<sup>6</sup> オスロフィヨルドの先の南側の海岸を占めるノルウェー。その首都であるオスロを特徴付けているのは、何といても豊かな自然環境です。滞在中はフィヨルドを観光し、ハーバーエリアをサイクリングし、島巡りを楽しみましょう。ウォーターアクティビティーも豊富です。

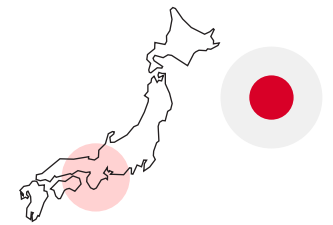
水は苦手という方は、博物館に足を運んでください。公園や美術館、ムード溢れる音楽施設もおすすめ。オスロは最先端文化の発信地であり、グルメとクリエイティブシーンも評判通りの素晴らしさです。



3. <https://www.visitnorway.com/places-to-go/eastern-norway/oslo/>

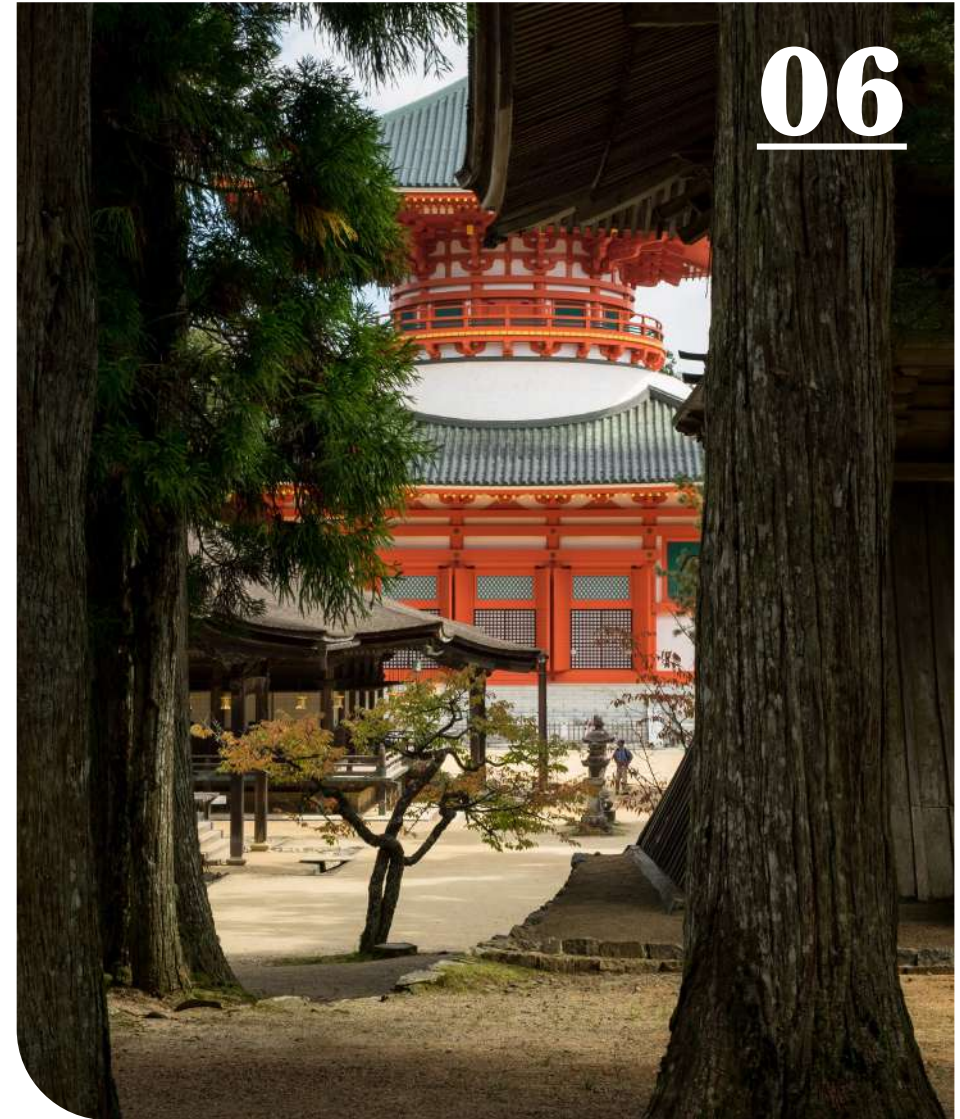
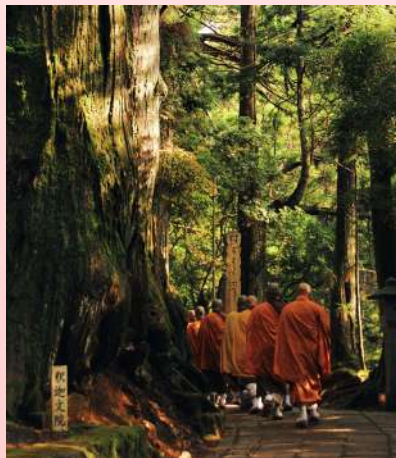


# 日本、紀伊半島



紀伊半島が、最近、国内旅行者の注目を集めています。本州中央部から南に突き出した紀伊半島には、東京や京都、広島といった日本のメジャーな観光都市とはひと味違う魅力と見どころがあります。

紀伊半島に行ったらぜひ訪ねていただきたい2つの場所は、仏教の聖地、高野山と巡礼者の道、熊野古道<sup>7</sup>です。ウォーキングシューズを履いて千年の歴史を辿る旅に出かけましょう。由緒ある自社仏閣を訪ね、小さな山間の村を通り、杉の大木に囲まれた道を歩けば清々しい気持ちになれることでしょう。





# メキシコ、チエトウマル



07

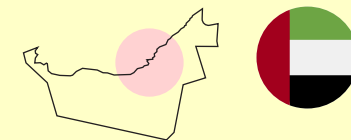
メキシコのビーチリゾート、ユカタン半島へ行ったことがあるなら、次はチエトウマルがおすすめの旅先です。ブラジルとの国境に面した小さな海岸都市で、複数の都市を訪ねる旅行を計画している方には最適な選択肢です。

近隣のトゥルム同様、この町はメキシコ観光の目玉であるマヤ文明の遺跡を訪ねる旅に理想的な滞在地です。オクスタンカ考古学地帯、コウンリチ遺跡のほか、市内にはマヤ文化博物館があります。ラグーナミラグロスののどかな海と、深い熱帯の森に囲まれたこのエリアでは、様々なアクティビティが体験できます。言うまでもなく地元料理も大きな魅力です。



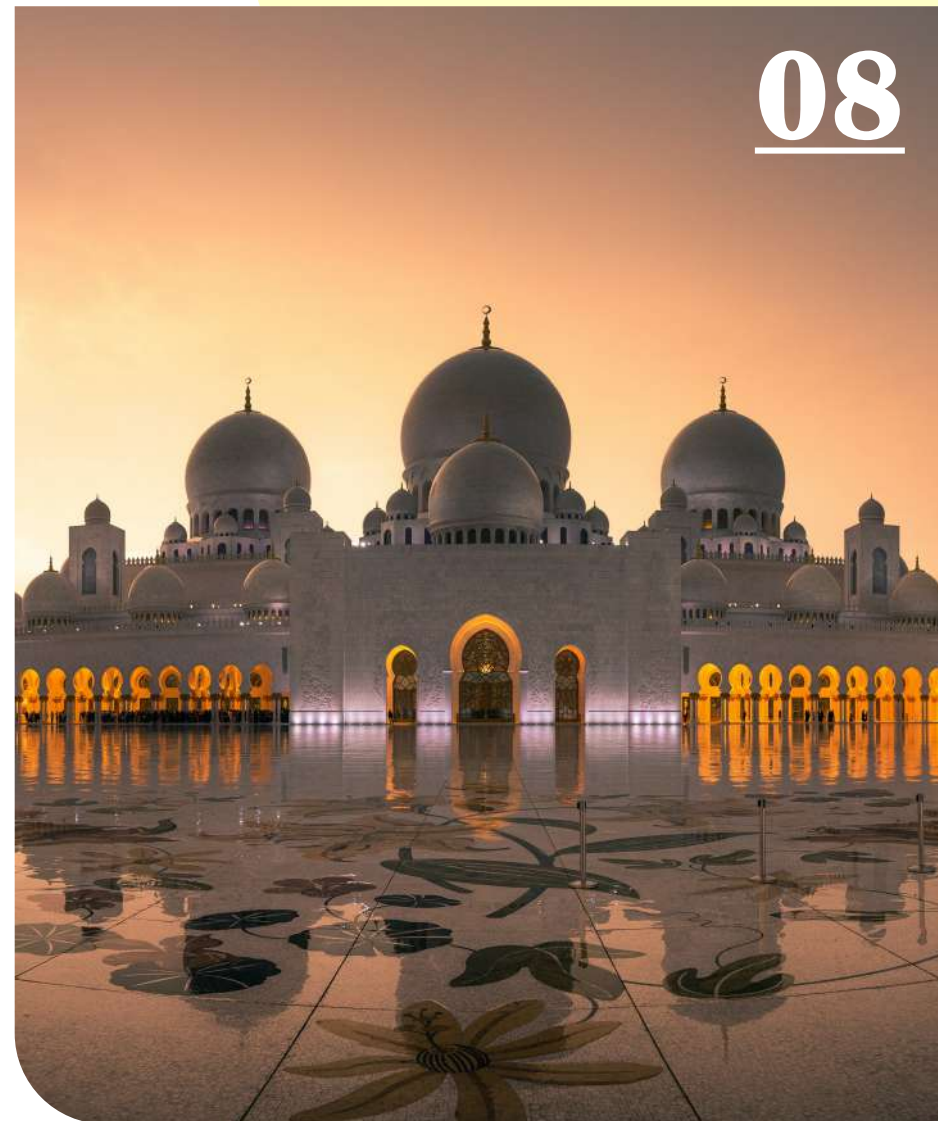


# アラブ首長国連邦、アブダビ



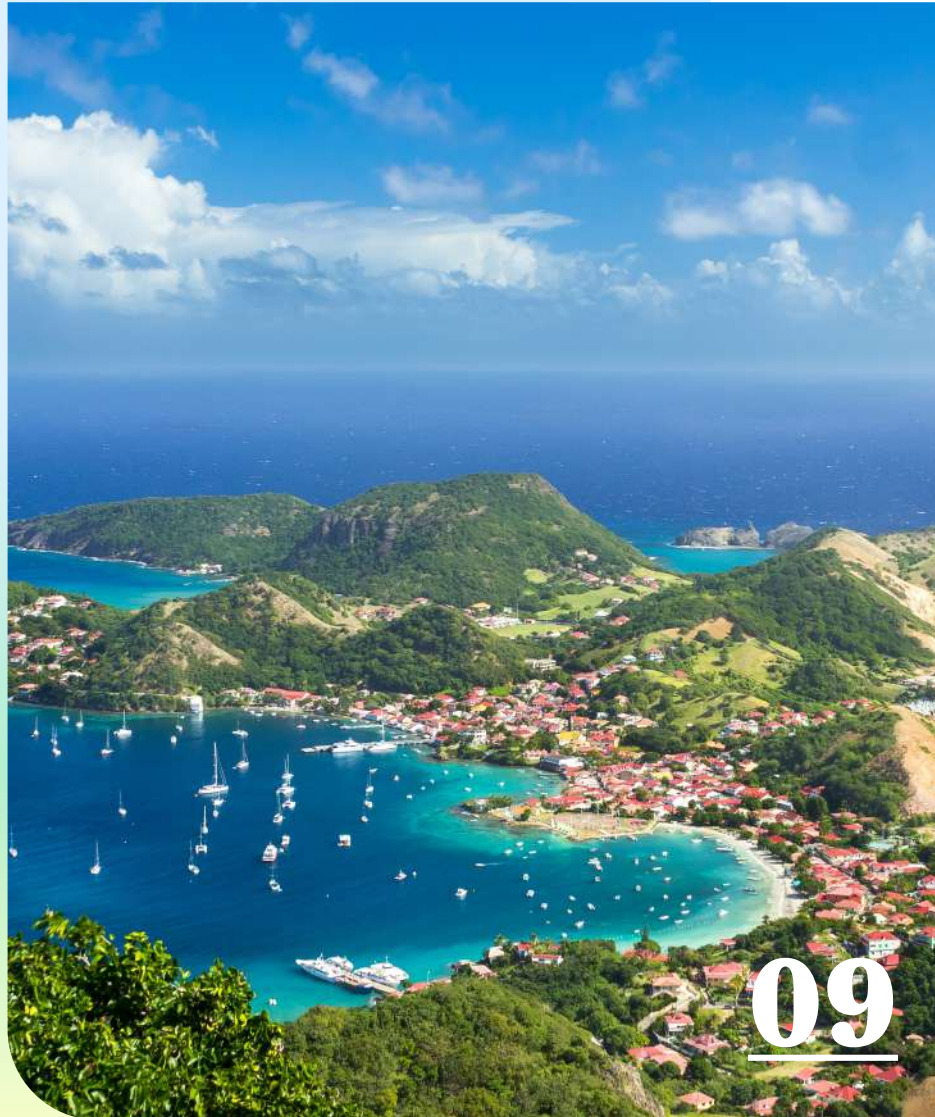
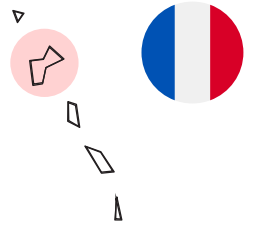
注目度が急上昇中のアビダビは、中東の人気旅先ランキング首位の最有力候補となっています。お隣のドバイはゴージャス志向の旅行者の注目を集めていますが、アブダビは、落ち着いて文化的な体験を提供してくれます。もちろん UAE ならではの贅沢も期待していただけます。

大理石張りの豪華なイスラム建築、シェイク ザイード グランドモスクからルーブル アブダビまで、この都市は見どころ満載です。ビーチで寛ぎウミガメを探してのんびり過ごす時間と砂漠へのアドベンチャーツアー、F1 レース観戦、キャメルライドなどのアクティビティの両方が楽しめます。<sup>8</sup>





# グアドループ



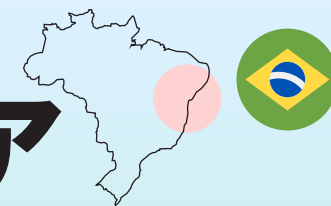
風光明媚なグアドループは、カリブ諸島の観光地のなかでもまだ広く知られていない数少ない穴場です。フランスの海外領土となっている12の島からなる列島は豊かな自然に恵まれ、その美しさや知名度の低さに相関関係は全く見られません。みずみずしい緑に覆われた火山と白砂のビーチはセントルシアを彷彿させますが、観光客が少ないことが大きな違い。さらにフランス領だけあって食事は美味しく、文化は華やかです。

旅行中は2つの主要な島であるグランドテール島、バステール島の両方を訪れることをおすすめします。グランドテール島の穏やかな南海岸は、誰もが認める最高のビーチスポット。シュノーケリングに絶好のロケーションです。アドベンチャー形のアクティビティをお好みの方には、バステール島の雨林がおすすめです。郡庁所在地で、活気あふれるポアントアピートルにもぜひ足を運んでください。





# ブラジル、サルバドール ダ バイア



ポルトガルとブラジル、アフリカの影響が入り混じるブラジルのサルバドール ダ バイアは、独特の個性を放つ都市です。パステルカラーのコロニアル建築、石畳の道、輝く砂浜...海岸に面したこの町は、実際に様々な色彩に溢れる美しい場所です。そしてブラジルの他の町には見られないエネルギーとトロピカルなムードに溢れています。

リオデジャネイロから北の方向に移動し、サルバドールを拠点にバイア州を旅しましょう。ユネスコ世界遺産として保護されている歴史地区は必見。船に乗ってフラース島、モロ デ サンパウロ<sup>9</sup>まで足を延ばすもおすすめです。フェスティバルも頻繁に催されているので、滞在中に開催されたら地元の人々と一緒にお酒とダンスに興ってください。





# まだ迷っていますか？ 弊社にご連絡ください

世界各地を旅した経験がある弊社のスタッフは、旅行のプランについて、他の旅行者の方々と話すことが大好きです。皆様の夢の旅を実現するために最高の旅程を作成し、いつまでも心にのこる思い出作りをお手伝いさせていただくことが私たちの喜びです。

弊社は旅行に関する専門知識を備えており、また最もお得な料金にアクセスすることができます。ですから弊社にご相談いただければ、簡単に旅の計画が立てられます。次の旅行について考え始めたら、ぜひ弊社にご連絡ください。夢の旅を実現しましょう。

